



第148期 報告書

(平成25年3月1日から平成26年2月28日まで)



©2014「ホットロード」製作委員会
©紡木たく/集英社

松竹株式会社

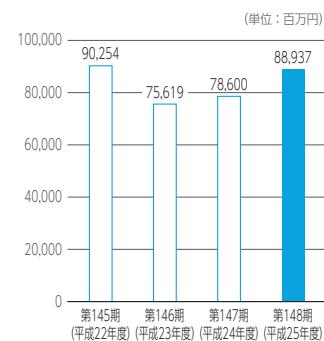
代表取締役社長 迫本 淳一



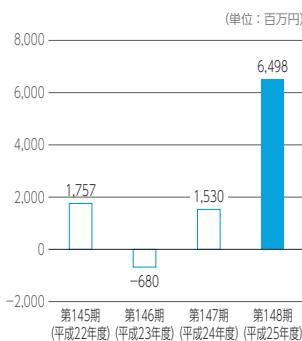
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社は第148期（平成25年3月1日から平成26年2月28日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。
なお、当期の期末配当につきましては、普通配当の3円に特別配当の1円を加え、1株当たり4円とさせていただきます。
株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

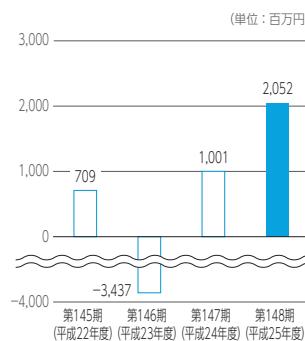
売上高



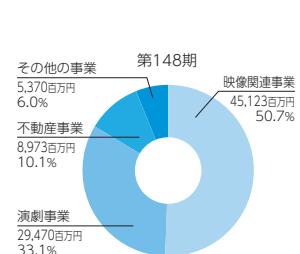
経常利益



当期純利益



事業別売上高



事業の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、輸出の持ち直し、公共投資の増加、雇用・所得環境の改善等により緩やかに景気回復に向かう一方、新興国・資源国の動向や欧州の財政問題、米国経済の回復ペース等がリスク要因となり、依然不透明な状況のまま推移しました。

映画業界は、興行収入1,942億3,700万円（前年比99.5%）、入場人員1億5,588万8千人（前年比100.5%）となりました。邦画・洋画の構成比は邦画が60.6%、洋画が39.4%となり、前年より洋画のシェアが若干回復しました。全国のスクリーン数は3,318スクリーンとなり、前年より28スクリーン増えました。

演劇業界は、平成25年4月に新開場した歌舞伎座の柿蒼落興行が盛況で、他の歌舞伎興行も好調に推移した一方、演劇興行全体では依然としてお客様が公演を選別しており、厳しい状況が続きました。

不動産業界は、賃貸オフィスビル市場にて、大型物件の供給が少なかったこと、成長企業の拡張や事業所の集約移転を目的としたオフィス需要が増加したことにより、空室率は緩やかに低下し、賃料下落傾向からの回復が見られました。

このような状況下、当社グループはより一層の経営の効率化を図るとともに、積極的な営業活動を展開しました。以上の結果、当連結会計年度は、売上高88,937百万円（前連結会計年度比113.2%）、営業利益8,604百万円（同280.5%）、経常利益6,498百万円（同424.6%）となり、特別損失3,112百万円を計上し、当期純利益は2,052百万円（同204.9%）となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

映像関連事業

【配給】邦画12本、洋画3本、アニメ3本、シネマ歌舞伎、METライブビューイングとバラエティに富んだ作品を公開しました。上期は、春休みに公開した「ひまわりと子犬の7日間」等が厳しい結果となりましたが、若年層の強い支持を得た「クロユリ団地」、シニア層に支持された歴史大作「終戦のエンペラー」がヒットしました。下期に入って期待に届かなかった作品もありましたが、山田洋次監督作品の「小さいうち」は2月に第64回ベルリン国際映画祭にて最優秀女優賞（銀熊賞）を受賞する等、多くの話題を集めました。

【興行】連結子会社の（株）松竹マルチプレックスシアターズは、邦画、洋画、アニメ、ODSを合わせて331本の作品を上映しました。その他、ライブビューイング、イベント上映等、幅広いラインナップの興行を行いました。

【テレビ制作】シリーズ企画「だまし系歌麿Ⅲ」「天才刑事 野呂盆六Ⅳ」、北大路欣也主演「剣客商売～剣の誓約～」、木下恵介 生誕100年プロジェクト「二十四の瞳」、CS時代劇「鬼平外伝 老盗流転」、BS連続時代劇「雲霧仁左衛門」、テレビ東京開局50周年特別企画の新春ワイド時代劇「影武者徳川家康」等を受注制作しました。テレビ映画の二次利用販売は、BS、CS放送局への販売が当期も順調に推移し、「必殺」シリーズの権利販売も収益に貢献しました。

【映像版權】◀DVD・ブルーレイディスク販売▶「大奥～永遠～〔右衛門佐・綱吉篇〕」「東京家族」「舟を編む」「終戦のエンペラー」、その他、小津安二郎生誕110年を記念したニューデジタルリマスター「東京物語」、中村勘三郎一周忌追悼企画としてシネマ歌舞伎6作品等を発売しました。

◀権利販売▶テレビ放映権販売は「東京家族」「釣りバカ日誌20ファイナル」「釣りバカ日誌16」が地上波のゴールデンタイムに放送され、「男はつらいよ」が5月にWOWOWで特別篇を含む全48作品49本、10月からはBSジャパンにて毎週土曜日に全作放送が始まりました。NHK BSではザ・ドリフターズの映画3本等が放送されました。配信に関する許諾は、「東京家族」「終戦のエン



「終戦のエンペラー」
©Fellers Film LLC 2012 ALL RIGHTS RESERVED



「小さいうち」
©2014 「小さいうち」製作委員会



平成25年9月 歌舞伎座「陰陽師」
©松竹株式会社

ペラー」等の大作の他、小津安二郎生誕110年を記念して、iTunesやGyaO!で監督の特集を組む等、周年事業の一貫としてライブラリーの活性化を行いました。

【CS放送】10月1日に（株）衛星劇場から社名を変更した連結子会社の松竹ブロードキャスティング（株）は、映画、舞台、ドラマ等の番組編成を強化するとともに、歌舞伎座新開場に合わせたプロモーションやホームドラマチャンネル15周年キャンペーン等の施策により、契約者数を伸ばしました。

演劇事業

【歌舞伎座】4月の新開場に先立って行われた歌舞伎俳優によるパレード「GINZA 花道」や開場式等で世間の注目を集めるなか、一年間に亘る柿蒼落興行が始まりました。当代最高の俳優たちによる豪華な舞台がお客様を魅了し、大盛況となりました。4～6月の3ヶ月は三部制興行で賑やかに行われ、7月からは若手花形俳優中心の舞台が評判を呼びました。秋以降も新作歌舞伎「陰陽師」の上演が大盛況となり、「義経千本桜」「仮名手本忠臣蔵」等の古典作品の連続上演が人気を集め、開場以来の活況を呈しました。

【新橋演舞場】歌舞伎座の新開場に伴い、本来の一般演劇中心の劇場に戻り、「滝沢演舞城2013」や藤山直美主演「さくら橋」等が評判を呼びました。秋以降は、中村獅童主演「大和三銃士」、山田洋次監督の演出による中村勘九郎主演「さらば八月の大地」等、意欲作の上演が続く話題を集めました。

【大阪松竹座】恒例になりました「七月大歌舞伎」、片岡愛之助を中心とした花形俳優が奮闘した「十月花形歌舞伎」、1月の「坂東玉三郎初春特別舞踊公演」では華麗な舞踊が人気を博し収益に貢献しました。春、夏、冬に上演の関西ジャニーズJr.公演は安定した収益を上げました。織田作之助生誕100年を記念した「ザ・オダサク」、9月は大地真央主演のラブコメディ「40カラット」を上演しました。また、11月の劇団創立65周年記念「松竹新喜劇特別公演」では、藤山寛美の孫の藤山扇治郎が新加入し話題を集めました。

【南座】「五月花形歌舞伎」では市川海老蔵による復活狂言の

「鎌鼬」、早替わり、宙乗りの「伊達の十役」が好評を博し、10月の「アマテラス」では坂東玉三郎と太鼓芸能集団 鼓童の共演が話題を集めました。「吉例顔見世興行」では二代目市川猿翁、四代目市川猿之助、九代目市川中車襲名披露興行が盛況に推移し高稼働しました。7月は山田洋次監督が脚本、演出を担った「東京物語」、9月の「香華」も堅調な数字を残しました。また、春、秋に開催した「歌舞伎ミュージアム」では、舞台機構をお客様に実体験していただく趣向で歌舞伎の裾野を広げました。

【その他の公演】日生劇場では、4月に創立90周年となるOSK日本歌劇団の記念公演「レビュー春のおどり～桜咲く国」、池畑慎之介☆、水谷八重子による「ドラマティックステージ」、さらに五木ひろしコンサートと続きバラエティ豊かな1ヶ月となりました。また9月には、関西ジャニーズr.による「ANOTHER」が大盛況となりました。閉館前のル テアトル銀座では、市川海老蔵を中心に「三月花形歌舞伎」を行い盛況となりました。三越劇場では、「新釈 金色夜叉」「明治一代女」を上演し、高評価を受けました。サンシャイン劇場では、つかこうへい作品の「熱海殺人事件」を錦織一清演出により上演し、盛況となりました。浅草公会堂では、市川猿之助を中心に「新春浅草歌舞伎」を開催しました。

【巡業公演】「第二十九回四国こんぴら歌舞伎大芝居」と公文協東コースにて四代目市川猿之助襲名披露興行、公文協中央コースおよび西コースは三代目中村又五郎・四代目中村歌昇襲名披露興行を行い好評を博しました。

【受託制作】二代目市川猿翁、四代目市川猿之助、九代目市川中車の襲名披露興行「御名残御園座三月大歌舞伎」、中村獅童を中心に「明治座十一月花形歌舞伎」を製作しました。坂東玉三郎主演「アマテラス」は7月に赤坂ACTシアター、9月に博多座で公演を行いました。

【シネマ歌舞伎等・METライブビューイング】《シネマ歌舞伎》歌舞伎座新開場により歌舞伎に対する関心度が増したことから、過去に公開した作品の再上映（月イチ歌舞伎）や第四期歌舞伎座の舞台収録映像を利用したシリーズ（シネマ歌舞伎クラシック）も全国的に人気を呼びました。さらに12月に「歌舞伎座新開場柿

蒼落大歌舞伎」DVD・ブルーレイBOOK（全3巻）を全国有名書店で発売し、好評を博しました。

《METライブビューイング》「リゴレット」「パルシファル」「ファルスタッフ」等の新作の他、過去に公開した作品のアンコール上映を行い好評を得ました。

【歌舞伎座ギャラリー】4月に歌舞伎座タワー5階に伝統文化の普及・世界への発信を目的とした文化施設をオープンし、開場以來多くの来場者を集めました。

不動産事業

不動産賃貸は、東劇ビル、築地松竹ビル、新宿松竹会館、大船ショッピングセンター、新木場倉庫、有楽町センタービル（マリオン）、松竹倶楽部ビルが順調に推移し、安定収入に貢献しました。各ビルとも効率的運営、経費削減に努め、計画通りの利益を確保しました。なお、一部のビルでは厳しい賃料減額要求等があり、交渉の継続と新たなテナント誘致に努めました。歌舞伎座タワーのリーシングにつきましては、概ね満室稼働を達成しました。

その他の事業

《プログラム、キャラクター商品》コアファンを有するアニメ「劇場版 銀魂 完結篇 万事屋よ永遠なれ」「宇宙戦艦ヤマト2199 第五章・第六章・第七章」「機動戦士ガンダムUC episode6」「劇場版TIGER&BUNNY-The Rising」等の売上が好調で収益に貢献しました。アニメ作品以外では「終戦のエンペラー」「舟を編む」等の自社配給作品に加え、「そして父になる」「100回泣くこと」等の売上が好調に推移しました。

《イベント事業》「アルプスの少女ハイジ」のテレビ放映40周年を記念した展示物販イベントを関東、関西5か所で開催し、会場図録等の自社で開発したオリジナル商品も販売しました。また、東京駅一番街の「松竹歌舞伎屋本舗」は売上好調で、歌舞伎座タワー地下2階の「木挽町広場」へ出店した分店も高稼働し、収益に大きく貢献しました。



平成25年10月 歌舞伎座
「義経千本桜」
©松竹株式会社



平成25年8月 新橋演舞場
「さくら橋」
©松竹株式会社



「歌舞伎座タワー」
©松竹株式会社、
株式会社歌舞伎座



「歌舞伎屋本舗木挽町分店」
©松竹株式会社

対処すべき課題

今後のわが国の経済は、輸出環境の改善や経済対策、金融対策の効果等を背景に次第に景気回復に向かうことが期待されますが、海外景気の下振れが引き続き景気を下押しするリスクとなっています。

当社グループは、コンプライアンス経営の強化に取り組み、社会情勢に対応しつつ企業価値を高め、あらゆる世代のお客様に喜んでいただける映像・演劇コンテンツを創造して参ります。

《映像関連事業》映画製作・配給は、独自の企画・製作力を高めるとともに、一本一本丁寧な営業・宣伝・販売活動に尽力し、お客様に喜ばれる作品を提供して参ります。主な作品では、NHK「あまちゃん」のヒロイン役で注目を集めた能年玲奈主演の「ホットロード」、宮部みゆき原作の巨編ミステリーを完全映画化した「ソロモンの偽証」前・後編二部作、ジョニー・デップ主演のSF大作「トランセンデンス」等の公開を予定しております。

《演劇事業》新開場から2年目を迎える歌舞伎座は、伝統的な演目は勿論、新作にも注力し若手中心の興行を織り交ぜながら話題の舞台を提供して参ります。新橋演舞場は、スーパー歌舞伎を継承、進化させたスーパー歌舞伎Ⅱ（セカンド）「空ヲ刻ム者-若き仏師の物語-」等、魅力的な話題作を製作します。また、営業面におきましても歌舞伎座で法人向け年間シートを導入する等、新しい施策も含めて団体動員の拡充を進めて参ります。

シネマ歌舞伎は、新派にジャンルを拡大してグランドシネマと銘打った坂東玉三郎の「日本橋」を全国上映し、好評を博した



「ホットロード」
©2014「ホットロード」製作委員会
©紡木たく/集英社



「トランセンデンス」
©2014 Alcon Entertainment, LLC.
All Rights Reserved.



平成26年3月 新橋演舞場
「スーパー歌舞伎Ⅱ 空ヲ刻ム者-若き仏師の物語-」
©松竹株式会社

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期末	前期末
	平成26年2月28日現在	平成25年2月28日現在
資産の部		
流動資産	47,928	44,648
固定資産	155,814	158,375
有形固定資産	111,998	117,168
無形固定資産	2,908	2,606
投資その他の資産	40,907	38,600
繰延資産	—	2
資産合計	203,742	203,026
負債の部		
流動負債	70,715	54,145
固定負債	63,510	82,641
負債合計	134,225	136,786
純資産の部		
株主資本	65,817	64,127
資本金	33,018	33,018
資本剰余金	30,135	30,066
利益剰余金	3,968	2,330
自己株式	△ 1,305	△ 1,288
その他の包括利益累計額	3,652	2,073
その他有価証券評価差額金	3,652	2,073
少数株主持分	46	39
純資産合計	69,517	66,240
負債・純資産合計	203,742	203,026

■ 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

当 期 自 平成25年3月 1日 至 平成26年2月28日	株主資本					その他の包括利益累計額		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
平成25年3月1日 残高	33,018	30,066	2,330	△1,288	64,127	2,073	2,073	39	66,240
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△414		△414				△414
当期純利益			2,052		2,052				2,052
自己株式の取得				△37	△37				△37
自己株式の処分		68		27	95				95
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減				△6	△6				△6
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						1,579	1,579	7	1,586
連結会計年度中の変動額合計	—	68	1,637	△16	1,689	1,579	1,579	7	3,276
平成26年2月28日 残高	33,018	30,135	3,968	△1,305	65,817	3,652	3,652	46	69,517

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
	自 平成25年3月 1日 至 平成26年2月28日	自 平成24年3月 1日 至 平成25年2月28日
売上高	88,937	78,600
売上原価	48,744	45,808
売上総利益	40,192	32,792
販売費及び一般管理費	31,587	29,724
営業利益	8,604	3,067
営業外収益	666	425
営業外費用	2,772	1,962
経常利益	6,498	1,530
特別利益	—	53
特別損失	3,112	234
税金等調整前当期純利益	3,386	1,349
法人税、住民税及び事業税	1,472	292
法人税等調整額	△ 145	86
法人税等合計	1,326	379
少数株主損益調整前当期純利益	2,059	970
少数株主利益又は損失(△)	7	△ 31
当期純利益	2,052	1,001

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
	自 平成25年3月 1日 至 平成26年2月28日	自 平成24年3月 1日 至 平成25年2月28日
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,923	7,939
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,550	△ 21,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,784	21,772
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 412	8,661
現金及び現金同等物の期首残高	20,181	11,519
現金及び現金同等物の期末残高	19,769	20,181

個別財務諸表

■ 貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期末	前期末
	平成26年2月28日現在	平成25年2月28日現在
資産の部		
流動資産	23,208	23,552
固定資産	112,697	103,392
有形固定資産	48,339	51,402
無形固定資産	3,028	2,980
投資その他の資産	61,330	49,009
繰延資産	—	2
資産合計	135,906	126,947
負債の部		
流動負債	25,393	16,964
固定負債	39,448	41,574
負債合計	64,841	58,539
純資産の部		
株主資本	67,428	66,308
資本金	33,018	33,018
資本剰余金	29,929	29,929
利益剰余金	5,342	4,185
自己株式	△ 861	△ 825
評価・換算差額等	3,636	2,100
その他有価証券評価差額金	3,636	2,100
純資産合計	71,064	68,408
負債・純資産合計	135,906	126,947

■ 株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

当 期 自 平成25年3月 1日 至 平成26年2月28日	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	評価・換算差額等		純資産合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計			その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成25年3月1日 残高	33,018	27,935	1,993	29,929	3,761	424	4,185	△825	66,308	2,100	2,100	68,408
事業年度中の変動額												
固定資産圧縮積立金の取崩					△43	43	—		—			—
剰余金の配当						△414	△414		△414			△414
当期純利益						1,572	1,572		1,572			1,572
自己株式の取得								△37	△37			△37
自己株式の処分				0	0			0	0			0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)										1,535	1,535	1,535
事業年度中の変動額合計	—	—	0	0	△43	1,201	1,157	△36	1,120	1,535	1,535	2,656
平成26年2月28日 残高	33,018	27,935	1,993	29,929	3,717	1,625	5,342	△861	67,428	3,636	3,636	71,064

ついに始動！ スーパー歌舞伎Ⅱ (セカンド)

今年3月、2年前に四代目を襲名した市川猿之助が、ついに新たな一步を踏み出しました。伯父である市川猿翁が生み出したスーパー歌舞伎を継承し、スーパー歌舞伎Ⅱ (セカンド) として新作を上演して大成功を取めたのです。

猿翁が、三代目猿之助時代の28年前に初演した名作『ヤマトタケル』をもって誕生したスーパー歌舞伎。その誕生の地である新橋演舞場は、演者の熱気と観客の大きな期待に包まれ、初日を迎えました。そして連日満員の盛況となりました。

記念すべき第一作のタイトルは『空ヲ刻ム者 -若き仏師の物語-』。新進気鋭の劇作家である前川知大氏とタッグを組み、市川右近、市川笑也らの猿翁一門や市川門之助をはじめとする歌舞伎俳優に加え、佐々木蔵之介、浅野和之、福士誠治という全く新しい俳優陣の参加を得て、当代猿之助ならではの“スーパー歌舞伎Ⅱ”



©松竹株式会社

が誕生したのです。それは、歌舞伎と現代演劇とのさらなる融合の可能性を示した意欲作であり、同時に、お客様に楽しんでいただくことを何よりも大切にしたいエンターテインメントでもあります。

当代猿之助によるスーパー歌舞伎Ⅱはこれが第一作。その第一作で、かつてのスーパー歌舞伎のファンだけでなく、これまでスーパー歌舞伎にも古典歌舞伎にも縁のなかった新しい観客をも魅了しました。これからも生み出されていくであろう新しい作品に、大きな期待が寄せられています。



©松竹株式会社

新作映画情報



©2014「ホットロード」製作委員会
©紡木たく/集英社

集英社少女漫画史上最速で100万部突破！コミックス全4巻で700万部という驚異的な発行部数を誇り、1986年1月号から1987年5月号まで別冊マーガレットにて連載された紡木たくの伝説的少女漫画。

主演には、国民的大ヒットドラマ「あまちゃん」にて主演を演じた能年玲奈で決定！

母から愛されていないと感じ、自分が誰からも必要とされていないのではないかと不安を抱えた心に傷を持つ少女、主人公・宮市和希を演じます。

複雑な家庭環境で育ち、孤独に生きる不良少年・春山洋志役には、約3万人が参加した三代目J Soul Brothersのオーディションを勝ち抜きボーカルに選出された登坂広臣が決定！本作品が映画初出演となります！！

本作は、原作の紡木たく自らが脚本を監修し、能年玲奈を和希として登坂広臣を春山として惚れ込み、2人がいたから実写化できると思ったと語るなど映画化に対しての熱い思いが込められています。

また、監督には「ソラニン」「僕等がいた」の三木孝浩が担当し、心に傷をもつ少女・宮市和希（能年玲奈）が、孤独に生きる不良少年・春山洋志（登坂広臣）に惹かれていく2人の究極の“純愛”を描くと共に、ママ（木村佳乃）との関係に不安を抱えている和希の姿は、現代における母子関係にも通じる“親子（家族）の再

生”を目指す物語となっています。ご期待ください！！

▶▶ストーリー

14歳の少女・宮市和希は、万引きで警察に捕まった。その日はママの誕生日。でもママは迎えに来なかった。和希の家には亡きパパの写像がない。ママが好きなのは昔から別の男だったから。

自分が望まれて生まれてきたわけではないことに心を痛める和希は、学校に馴染めず浮いている。

転校生・絵里に誘われるまま、夜の湘南で“Nights (ナイツ)”というチームの少年・春山洋志と出会う。

最初の出会いは傷つけ合って散々だったが、春山が身を置く不良の世界に和希は自分の居場所を求め、戸惑いながらも次第に春山に惹かれ始める。

その一方で、“Nights”のリーダーとなった春山は、敵対するチームとの抗争に巻き込まれていく…。

公開日：2014年8月16日(土) 全国ロードショー

『ホットロード』

出演：能年玲奈 登坂広臣
原作：紡木たく『ホットロード』集英社文庫<コミック版>
監督：三木孝浩
脚本：吉田智子 配給：松竹
<http://www.hotroad-movie.jp>

▶▶イントロダクション

ジョニー・デップが体現する現代社会のリアルな未来
ジョニー・デップが新たに描き出したのはコンピュータ社会がもたらす脅威【トランセンデンス】。
テクノロジーとの融合で人類に究極の進化をもたらし、死さえも克服してしまうと言われる超越世界。

このリアルな題材に壮大な物語を注ぎ込み、【ブラックリスト】*にも選ばれた本作は、製作総指揮クリストファー・ノーランのもと、100億円のビッグプロジェクトとして始動。

モーガン・フリーマン、レベッカ・ホール、ポール・ベタニー、キリアン・マーフィ、ケイト・マーラなど主役級の豪華実力派俳優が脇を固めた本作は、私たちの常識を“超越”した、誰も見た事のない世界を生み出している。

※ハリウッドの業界人が選ぶ製作前の優秀脚本

▶▶STORY

死すべき運命だった科学者ウィル。しかしその意識は、死の間際に妻エヴリンによってスーパーコンピュータへとインストールされた。

意識だけの存在となったウィルは、オンラインに繋がると軍事機密、金融、政治から個人情報まで、世界中のあらゆる情報を手に入れながら究極的な進化を遂げ、遂に生命までもコントロールし始めた。常人を遙かに超える力で増殖し、拡散し、支配するウィルに「彼は私の愛した人なの？」と信じる心が揺らぎ始めるエヴ

リン。まるで神のごとき力を手にし、変わり果てた男に世界は恐怖を感じ、密かに抹殺計画が進行し始める。そしてエヴリンにも選択の時が…

公開日：2014年6月28日(土)
全国超拡大公開
【6月27日(金)】
先行公開決定！



©2014 Alcon Entertainment, LLC.
All Rights Reserved.

『トランセンデンス』

製作総指揮：クリストファー・ノーラン「インセプション」「ダークナイト」シリーズ他
監督：ウォーリー・フィスター アカデミー賞*撮影賞受賞（『インセプション』）
出演：ジョニー・デップ、モーガン・フリーマン、ポール・ベタニー
『ツーリスト』『ダヴィンチ・コード』、レベッカ・ホール『ザ・タウン』『プレステージ』、キリアン・マーフィ『ダークナイト』シリーズ『インセプション』、ケイト・マーラ『127時間』『ブローックバック・マウンテン』
アメリカ映画 配給：ポニーキャニオン/松竹 共同配給

会社の概要

商号 松竹株式会社
 設立 大正9年11月
 資本金 33,018,656,642円
 従業員数 525名

本社、支社および営業所

本社 東京都中央区築地四丁目1番1号
 電話 03-5550-1534 (総務課)
 関西支社 (大阪)
 九州営業所 (福岡)

当社ホームページ

<http://www.shochiku.co.jp/>

役員

代表取締役会長	大谷信義
代表取締役社長	迫本淳一
専務取締役	安孫子正人
専務取締役	細田光人
常務取締役	武中雅人
常務取締役	大角正文
社外取締役相談役	上條清文
取締役	井手良樹
取締役	岡崎哲也
取締役	秋元孝康
取締役	関根
常勤監査役	岡田敏明
社外監査役	中川勝弘
社外監査役	鈴木茂晴
社外監査役	牛島信

グループ会社一覧

連結子会社

- ・松竹衣裳 (株): 舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)松竹サービスネットワーク: 映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備、旅行業者代理業
- ・松竹関西サービス (株): 不動産管理・清掃
- ・(株)ショウビズスタジオ: 舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生
- ・松竹芸能 (株): タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作
- ・松竹ブロードキャスティング(株): CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】
- ・(株)松竹撮影所: 劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負
- ・(株)松竹映像センター: 映像制作、編集およびDVDオーサリング
- ・(株)松竹マルチプレックスシアターズ: 複合映画館(シネマコンプレックス)の開発・運営
- ・松竹音楽出版 (株): 映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
- ・歌舞伎座舞台 (株): 演劇舞台の大道具製作・販売
- ・(株)関西美術: 演劇舞台の小道具製作・賃貸
- ・日本演劇衣裳 (株): 舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)松竹エンタテインメント: 俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成並びにマネージメント
- ・匿名組合築地ビルキャピタル: 築地松竹ビルの賃貸および管理
- ・KSビルキャピタル特定目的会社: 歌舞伎座タワーの賃貸および管理

持分法適用会社

- ・(株)サンシャイン劇場: サンシャイン劇場の賃貸、演劇・映画の興行他
- ・(株)イヤホンガイド: 演劇劇場内イヤホンガイドサービス
- ・(株)歌舞伎座: 歌舞伎座その他事務所・店舗の賃貸
- ・新橋演舞場 (株): 新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸
- ・インターローカルメディア(株): 放送法による委託放送業務およびその他の放送一般事業
- ・歌舞伎座サービス (株): 食堂・飲食店舗・売店の経営

株式の状況

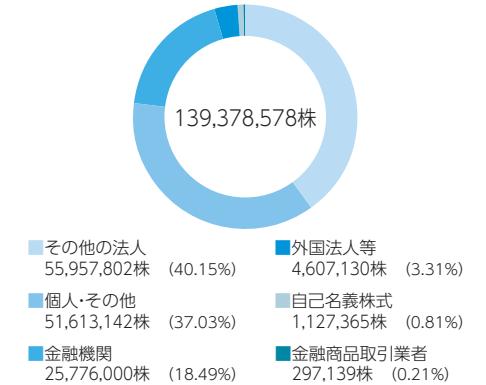
発行可能株式総数 300,000,000株
 発行済株式の総数 139,378,578株 (自己株式1,127,365株を含んでおります。)
 株主数 17,855名 (前事業年度末比209名増)

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社歌舞伎座	4,802千株	3.47%
株式会社みずほ銀行	4,500千株	3.25%
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,344千株	3.14%
セコム株式会社	3,700千株	2.68%
三井物産株式会社	3,700千株	2.68%
清水建設株式会社	3,690千株	2.67%
株式会社大林組	3,600千株	2.60%
西松建設株式会社	3,288千株	2.38%
大成建設株式会社	3,104千株	2.25%
株式会社TBSテレビ	2,542千株	1.84%

(注) 持株比率は自己株式 (1,127,365株) を控除して計算しております。

【所有者別株式分布表】



株主優待基準

【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	演劇優待期間
毎年2月末日	毎年6月～同年11月
毎年8月末日	毎年12月～翌年5月

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待 ポイント付与基準】

保有株式数	6ヶ月優待ポイント数 (1ヶ月使用可能ポイント数)	
1,000株以上	80ポイント	(40ポイント)
2,000株以上	160ポイント	(60ポイント)
3,000株以上	200ポイント	(80ポイント)
5,000株以上	280ポイント	(100ポイント)
8,000株以上	400ポイント	(120ポイント)
10,000株以上	480ポイント	(140ポイント)

【演劇優待 枚数基準】

保有株式数	6ヶ月優待枚数
3,000株以上	2枚
5,000株以上	4枚
8,000株以上	6枚
10,000株以上	8枚
15,000株以上	12枚
20,000株以上	16枚

※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。
 ※1名様につき、10ポイントが必要となります。なお、「新宿ピカデリー」のみ1名様20ポイントが必要となります。新宿ピカデリーは公開の2週目(8日目)以降から利用可能です。「プラチナシート」・「プラチナルーム」はご利用になれません。3D映画は、1名様につき15ポイント(通常10ポイントの1.5倍)で、ご鑑賞可能となります(「新宿ピカデリー」のみ30ポイント)。

株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 毎年5月下旬

株主確定基準日 定時株主総会 2月末日

期末配当 2月末日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関

同連絡先 〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

単元株式数 1,000株

公告掲載URL <http://www.shochiku.co.jp/company/ir/>

(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。)

【お知らせ】

1.ご注意

- (1) 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 配当金の口座振込のご指定手続きにつきましては、配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなります。振込指定のお手続きにつきましては各口座管理機関にお問い合わせください。
- (4) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2.配当金計算書について

配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金額収証」により配当金をお受取になられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。

【ご案内】

1.平成26年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について

平成26年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315%（※）の源泉徴収税率が適用されます。

（※）所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%。

なお、株主様によっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。

2.少額投資非課税制度口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

また、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



見やすく読みましがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。